

山梨県の現状について －令和 6 年度－

令和 7 年度山梨県合同輸血療法委員会
委員長会議

令和 7 年 1 月 18 日 (木)

1. 全国及び県内の血液製剤供給量について

血液製剤の供給単位数年度推移（全国）

万単位

1,000

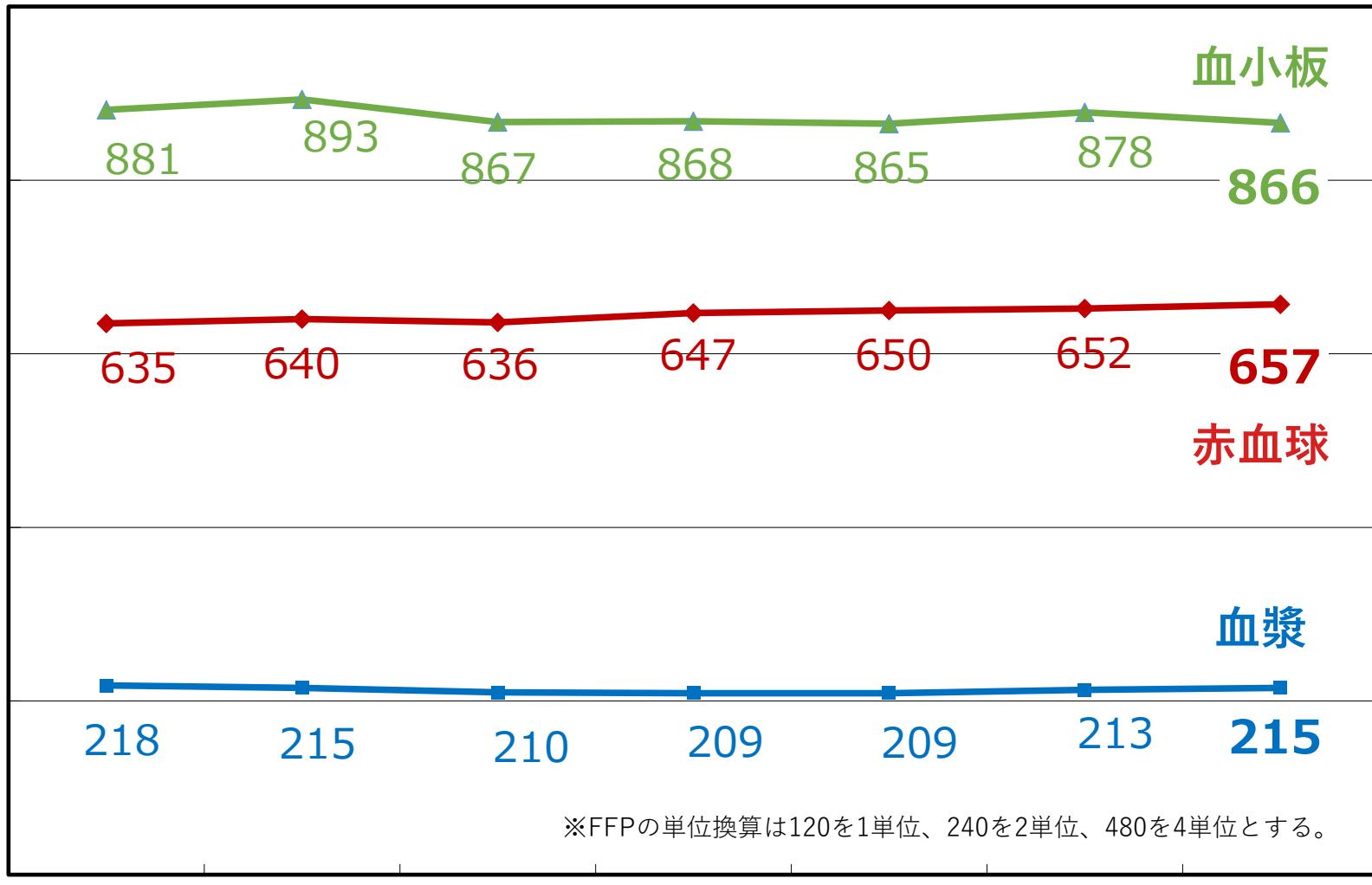
800

600

400

200

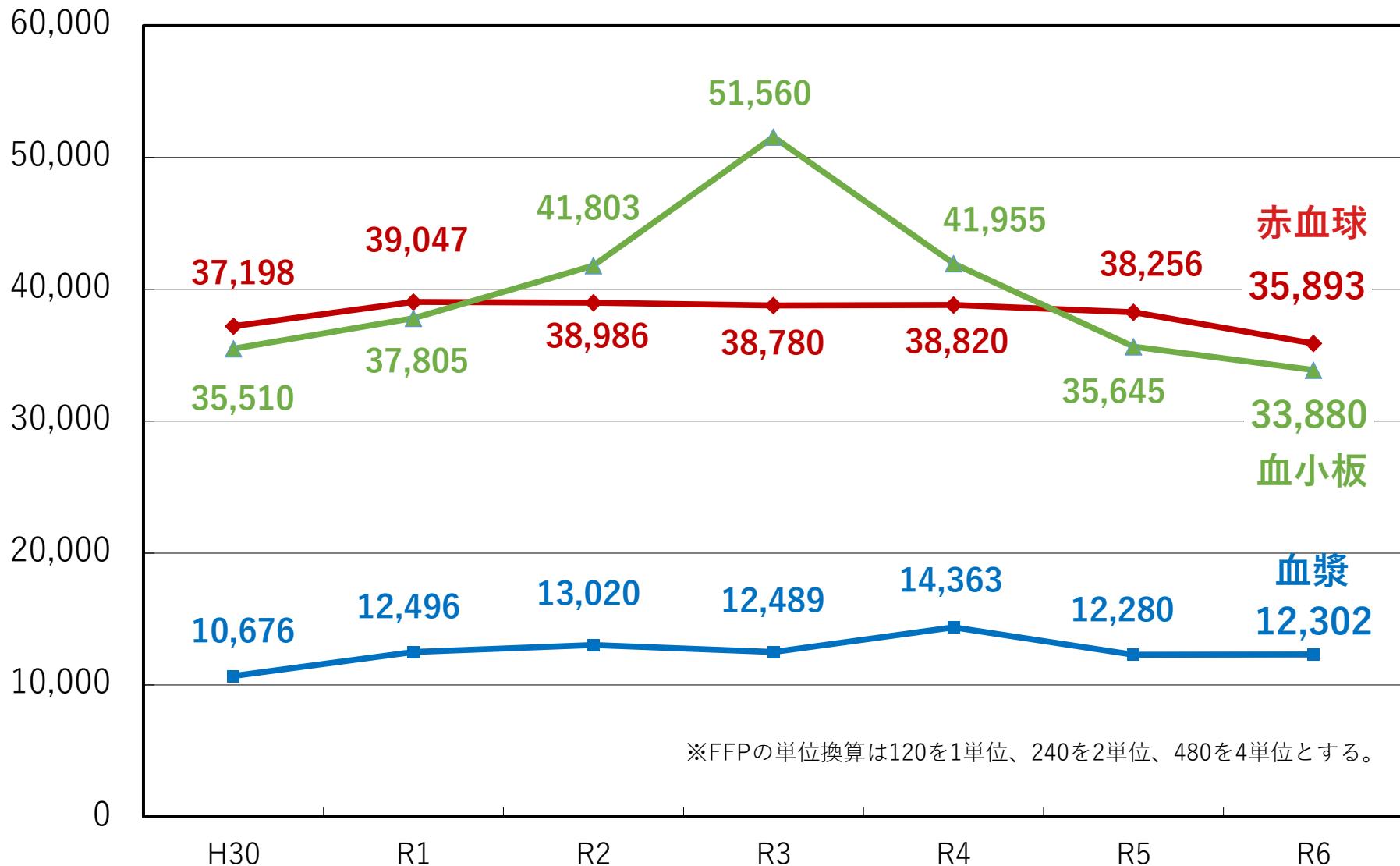
0



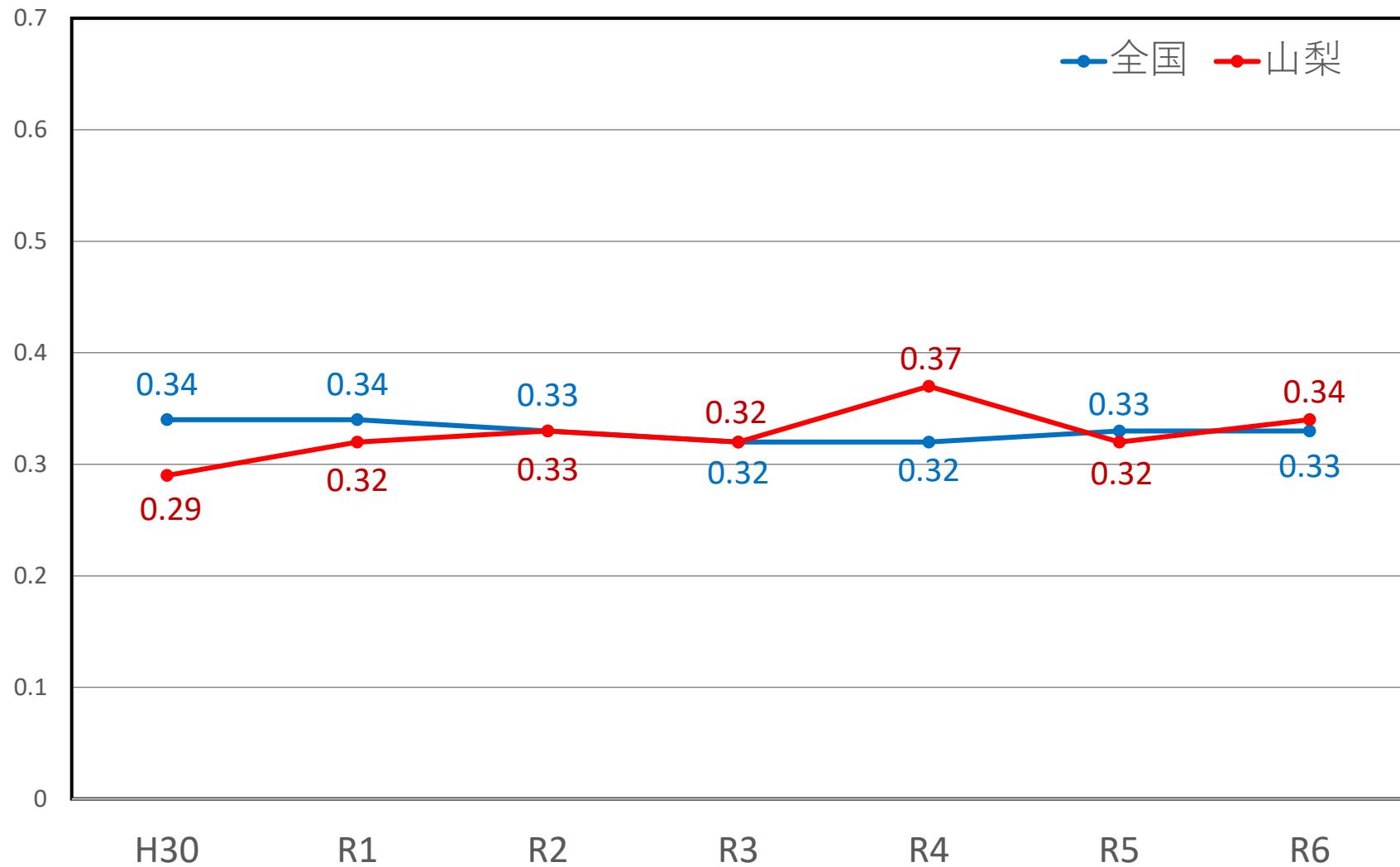
※FFPの単位換算は120を1単位、240を2単位、480を4単位とする。

血液製剤の供給単位数年度推移（山梨）

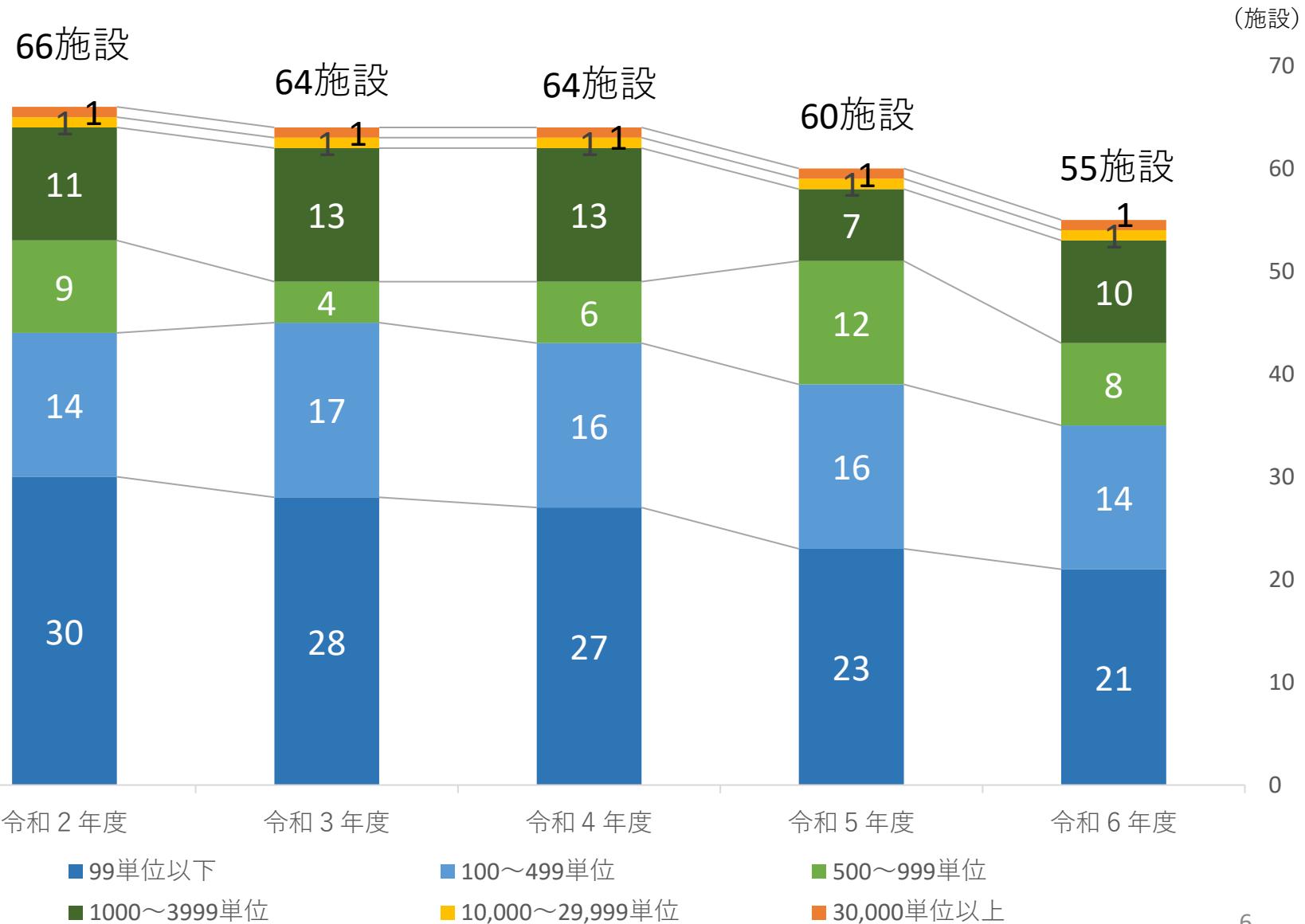
単位



供給量からのFFP/RBC-LR 年度推移



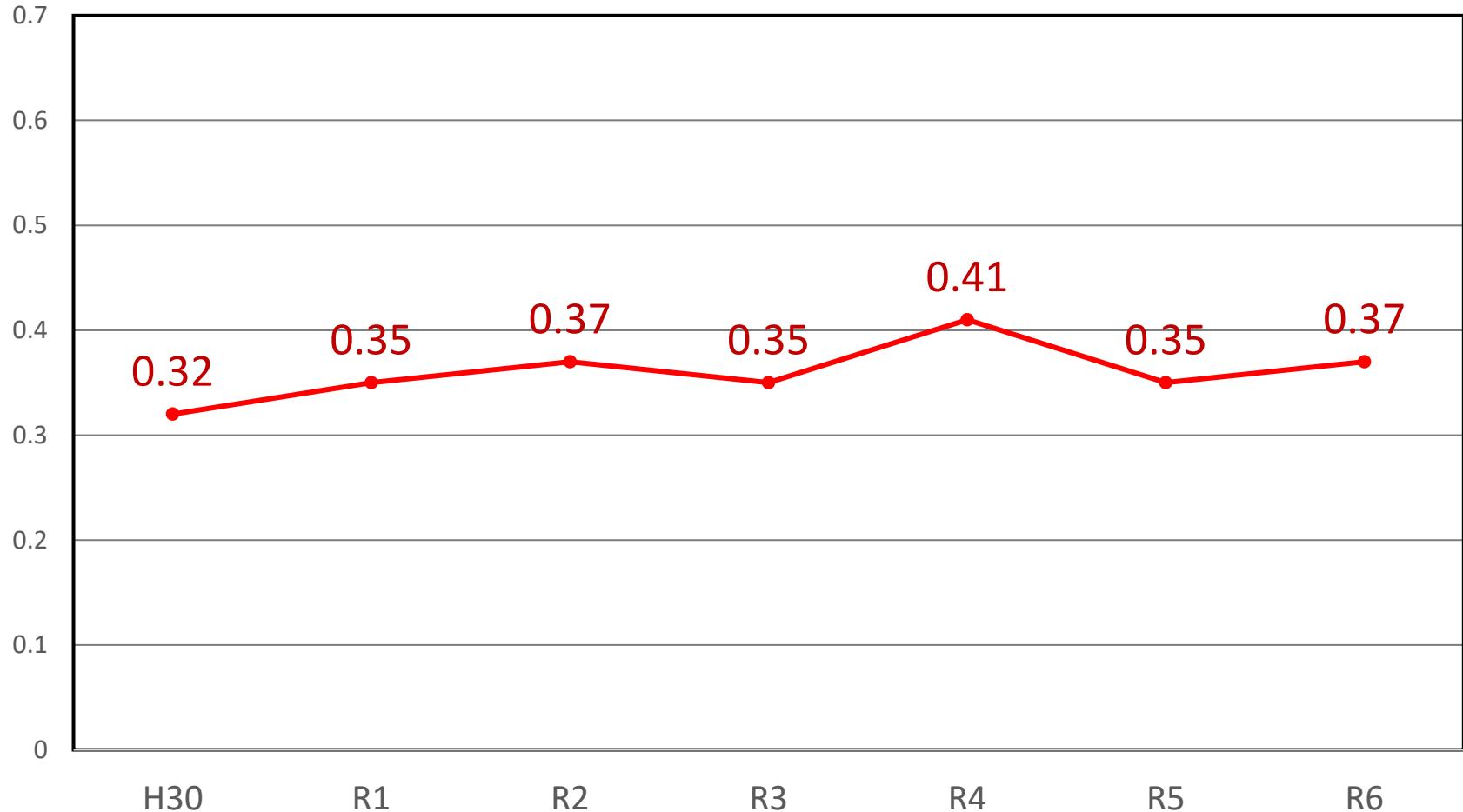
供給医療機関数（山梨）



2. 主要25病院の使用状況について

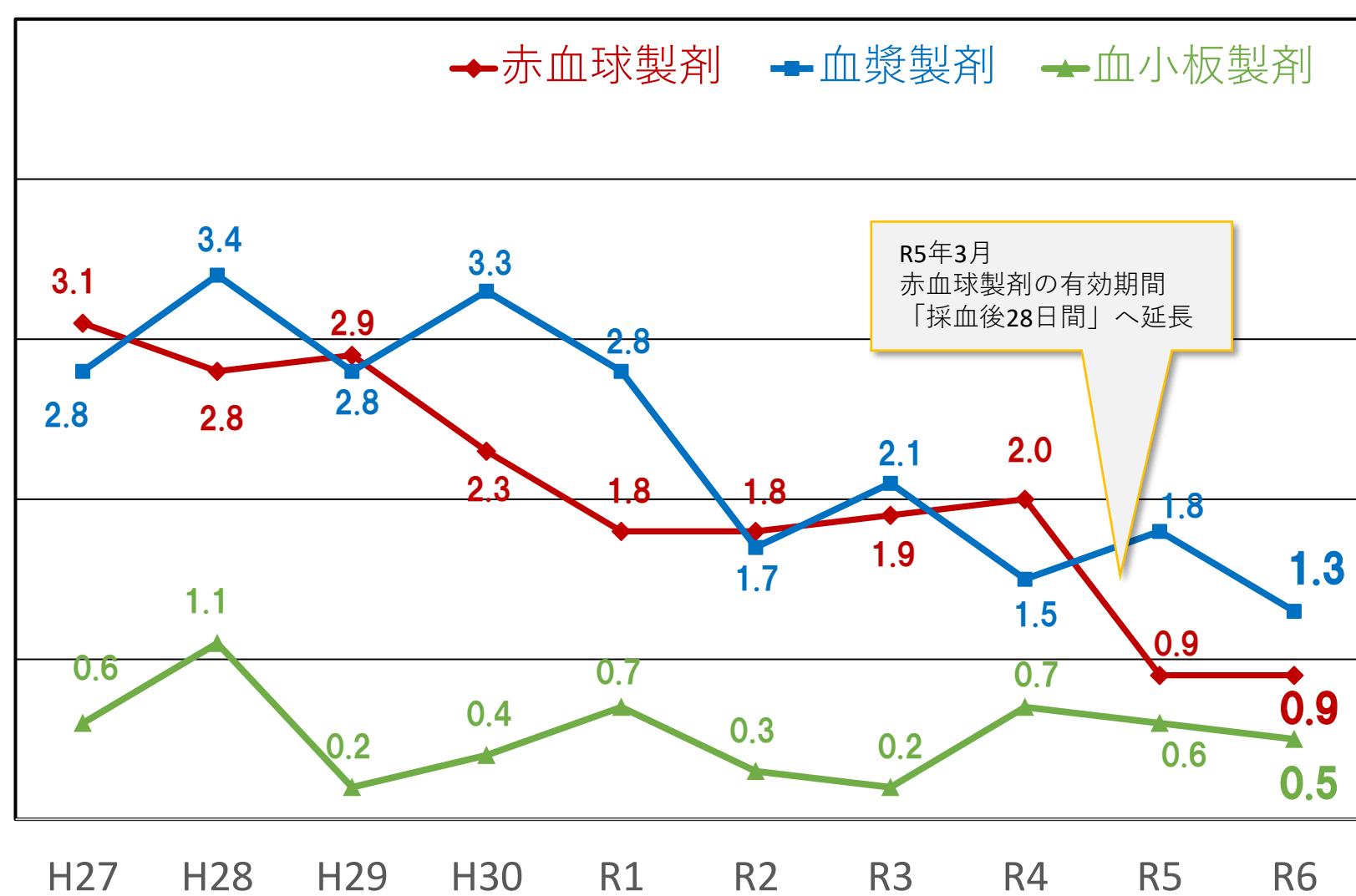
【主要25病院の県内供給量占有率97.5%】

主要25病院の輸血用血液製剤の 使用量からのFFP/RBC-LR年度推移



主要25病院の製剤別廃棄率年度推移

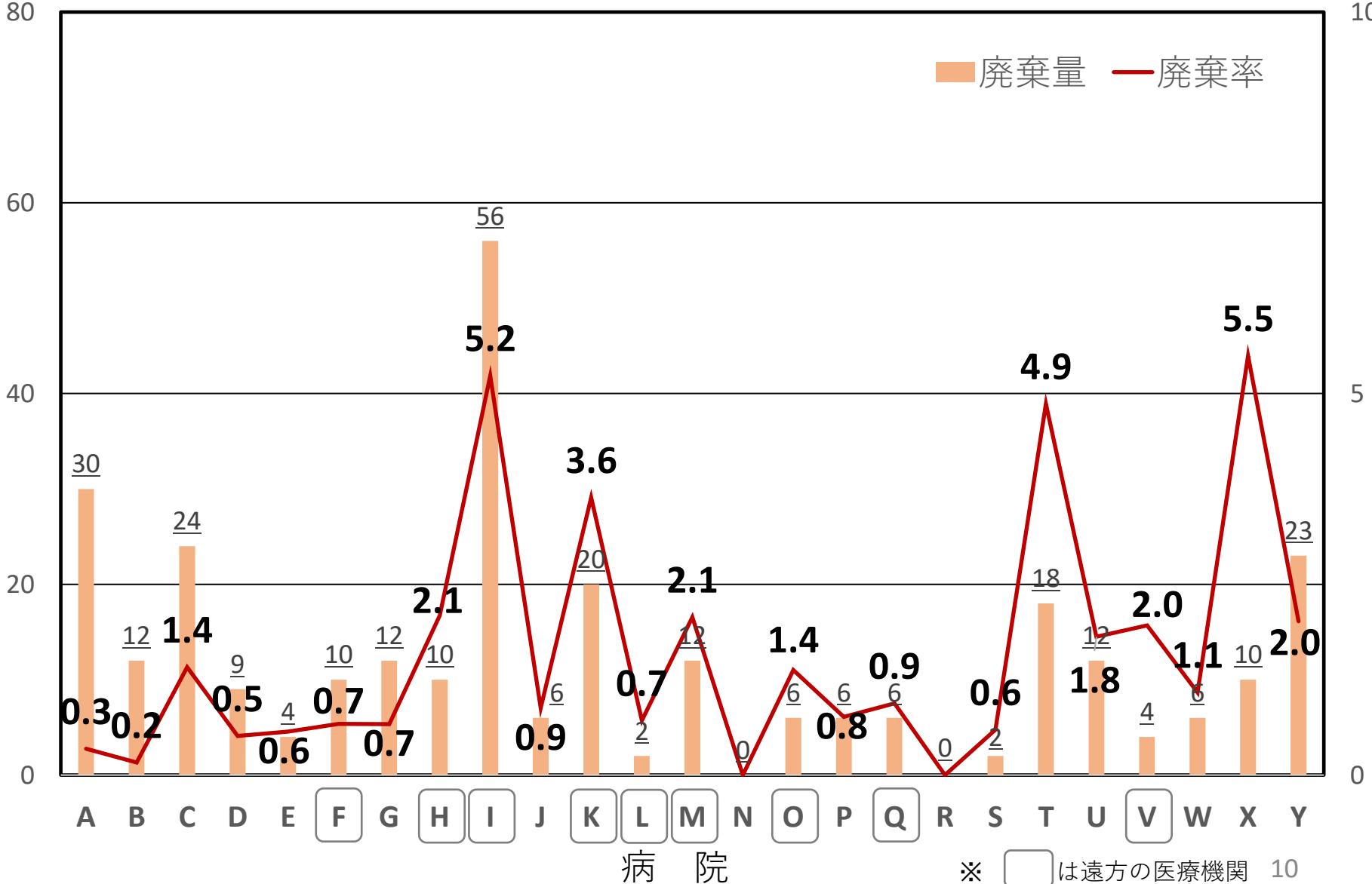
(%)



主要25病院の赤血球製剤廃棄量・廃棄率

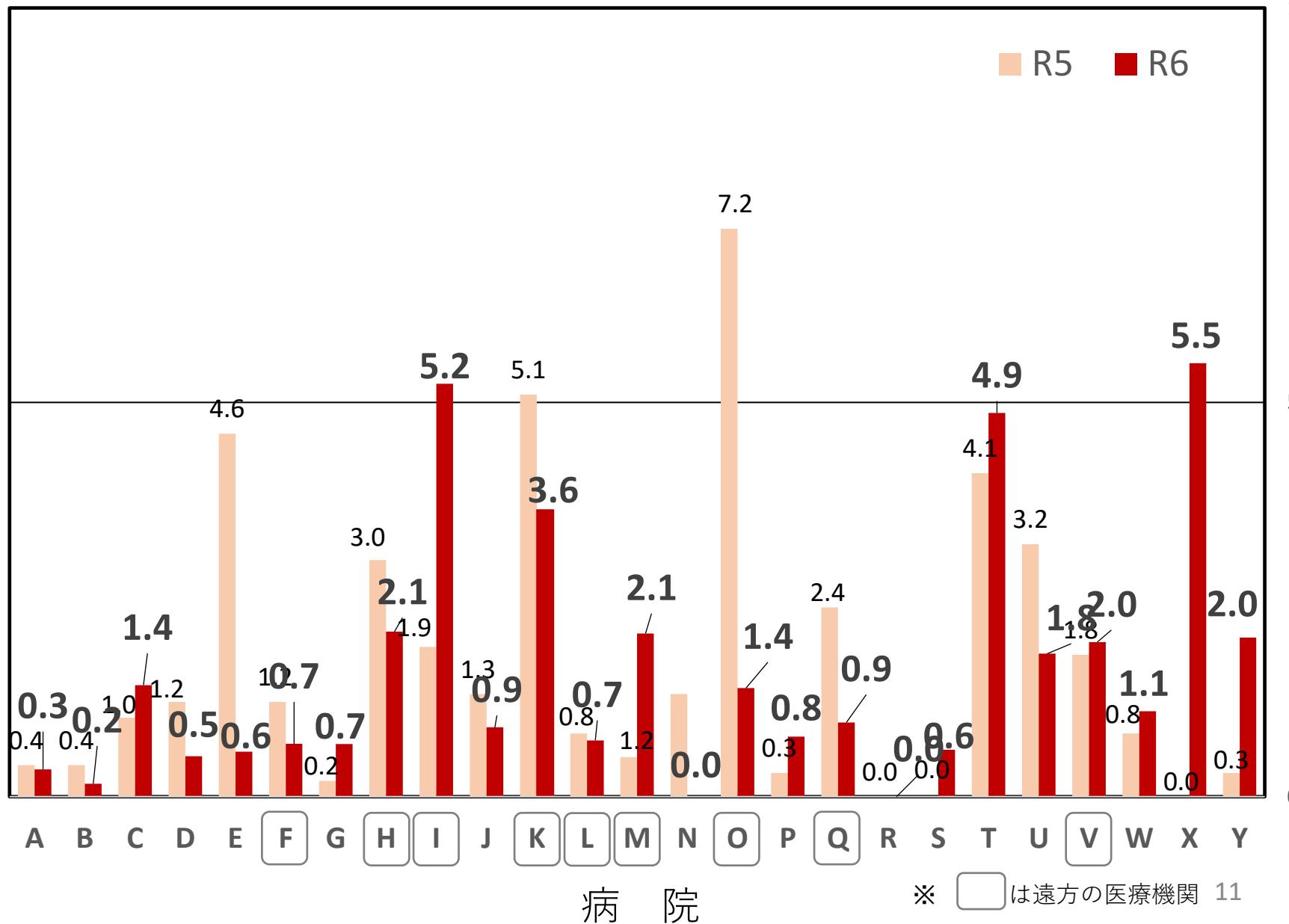
(単位)

(%)



主要25病院の赤血球製剤廃棄率の比較

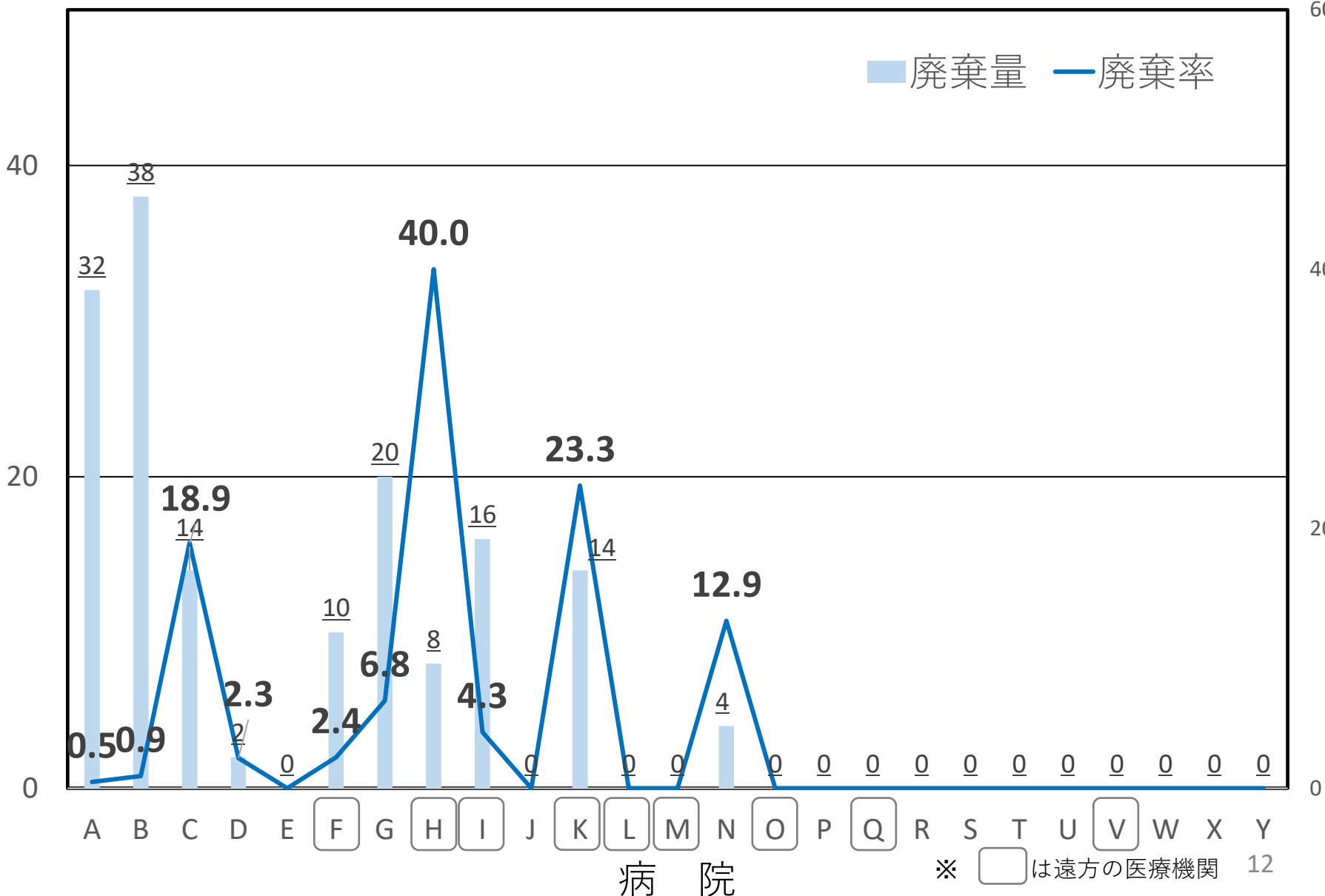
(%)



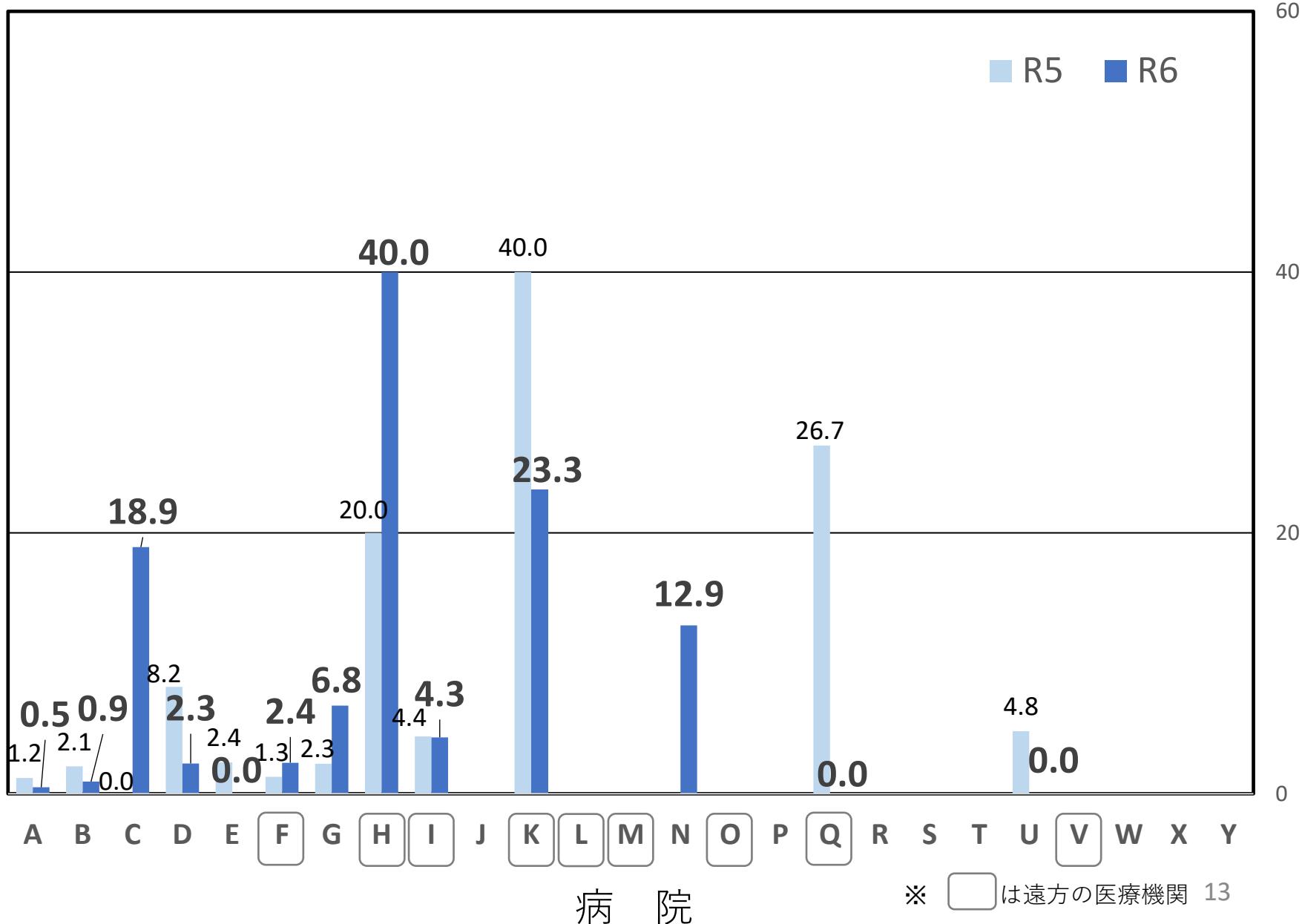
主要25病院の血漿製剤廃棄量・廃棄率

(単位)

(%)



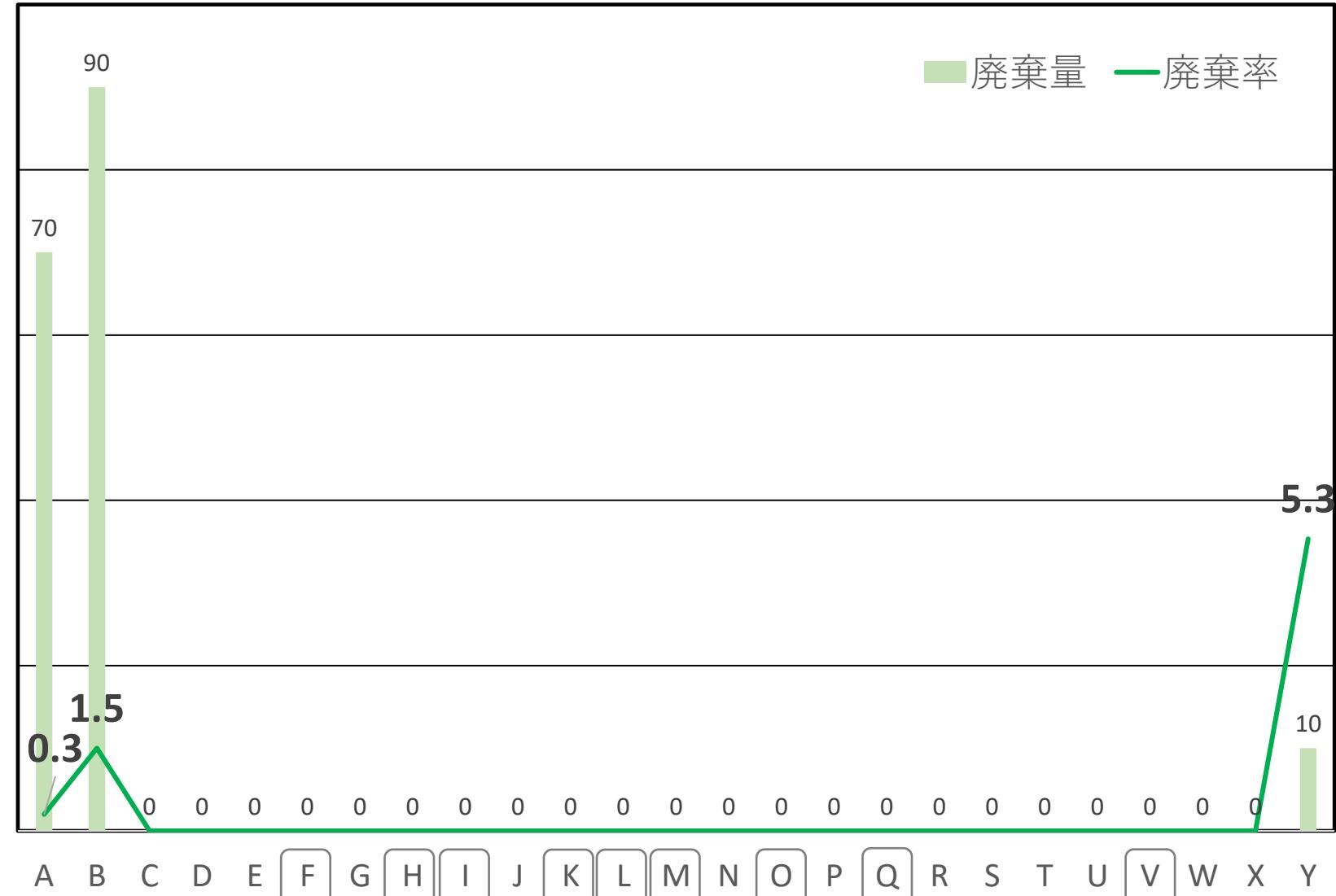
主要25病院の血漿製剤廃棄率の比較



主要25病院の血小板製剤廃棄量・廃棄率

(単位)
100

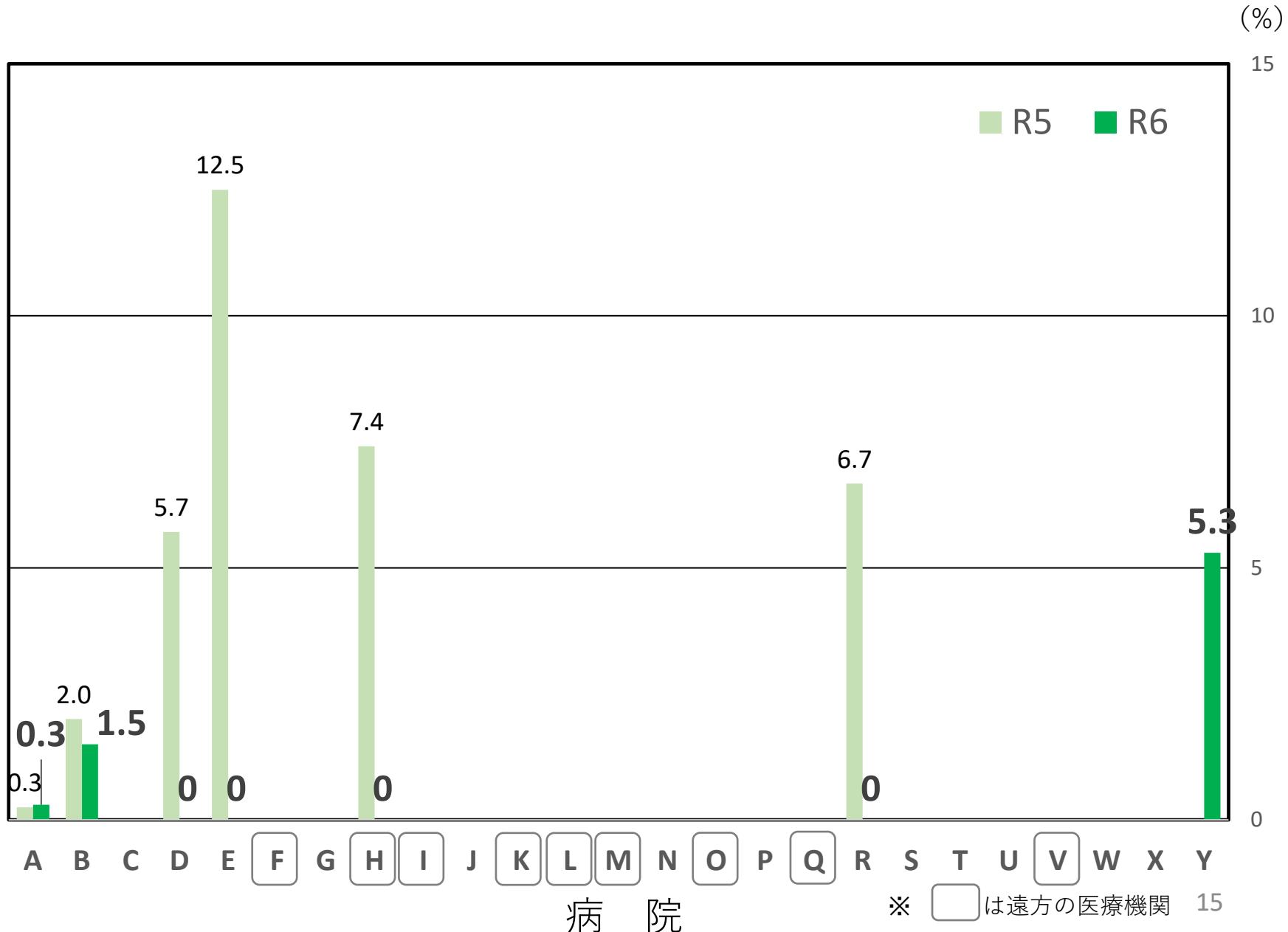
(%)
15



病院

※ □は遠方の医療機関 14

主要25病院の血小板製剤廃棄率の比較



3. 各医療機関の状況について

調査概要

◆概要

過去2年間に供給実績のある県内61施設に対しメールを使用し調査を行った。

◆結果

回収数：44施設（回答率：72.1%、県内供給量占有率：99.1%）

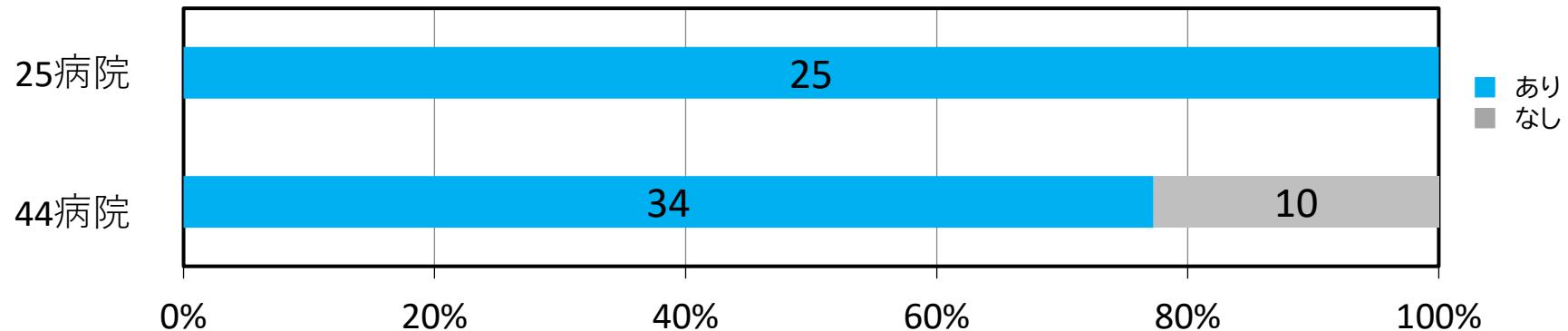
◆調査項目

- ・管理料取得状況
- ・院内輸血療法員会及び責任医師の設置状況
- ・外来輸血の実施状況及び患者説明パンフレットの使用状況
- ・在宅輸血実施状況
- ・不規則抗体カード発行状況
- ・院内監査実施状況
- ・輸血関連インシデントの発生状況

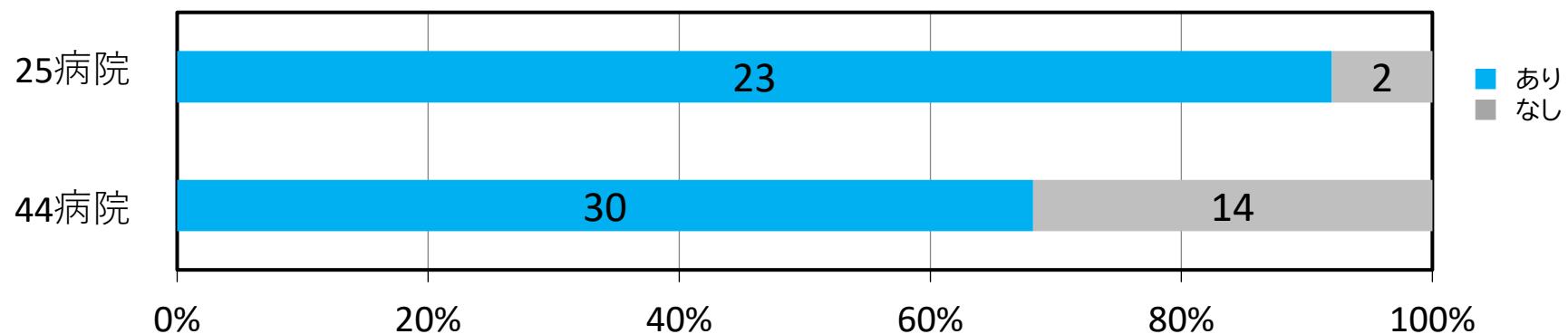
◆輸血管理料の取得状況

	2024年
輸血管理料Ⅰ	0病院
輸血管理料Ⅱ	27病院
適正使用加算	10病院
貯血式自己血輸血 管理体制加算	1病院

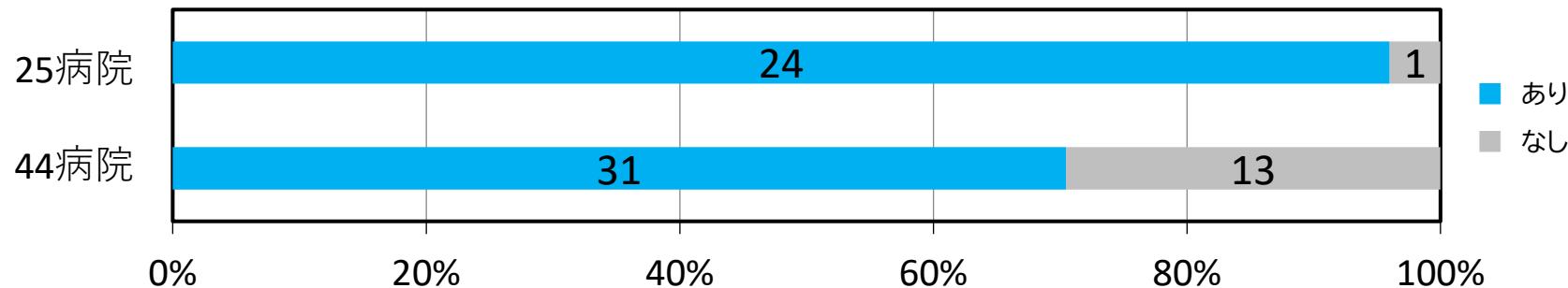
◆院内輸血療法委員会の設置



◆輸血責任医師の任命



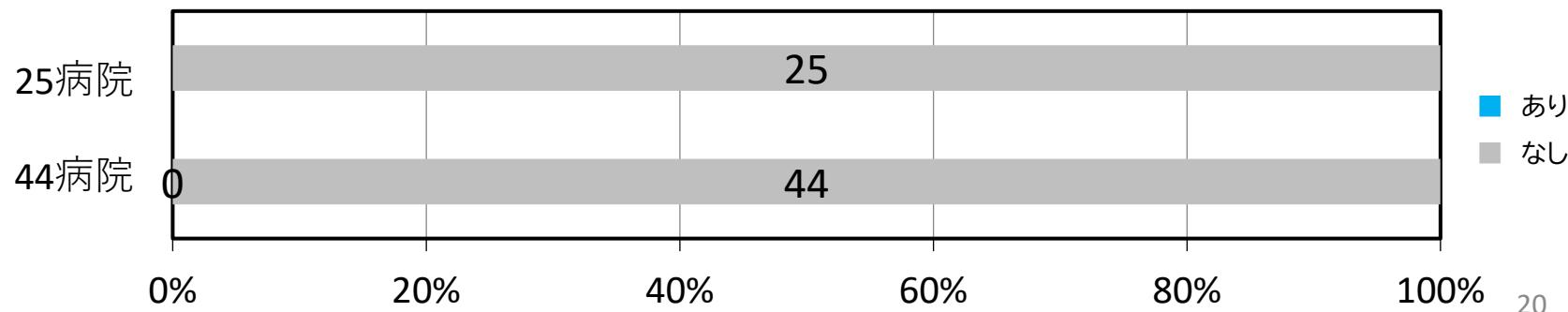
◆外来輸血実施状況



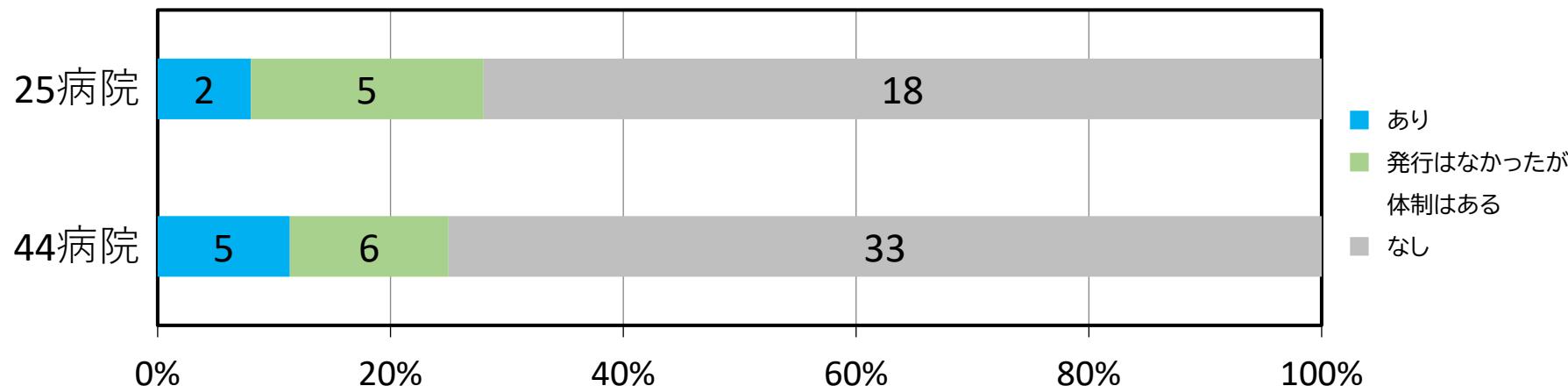
※外来輸血患者説明用パンフレット使用状況



◆在宅輸血実施状況



◆不規則抗体カード発行状況

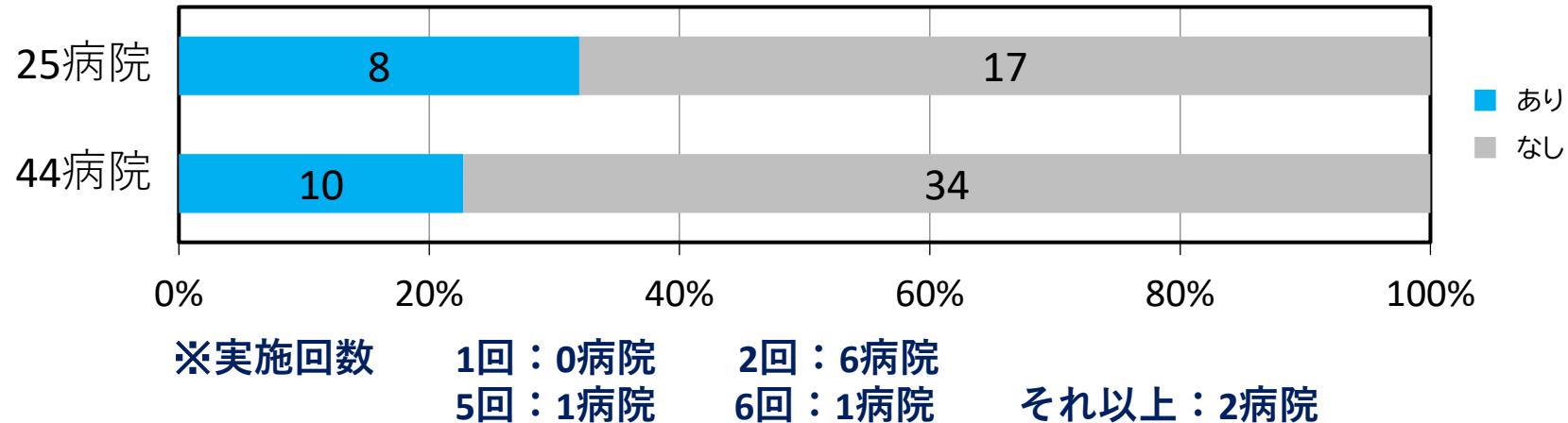


※発行枚数（山梨県版）

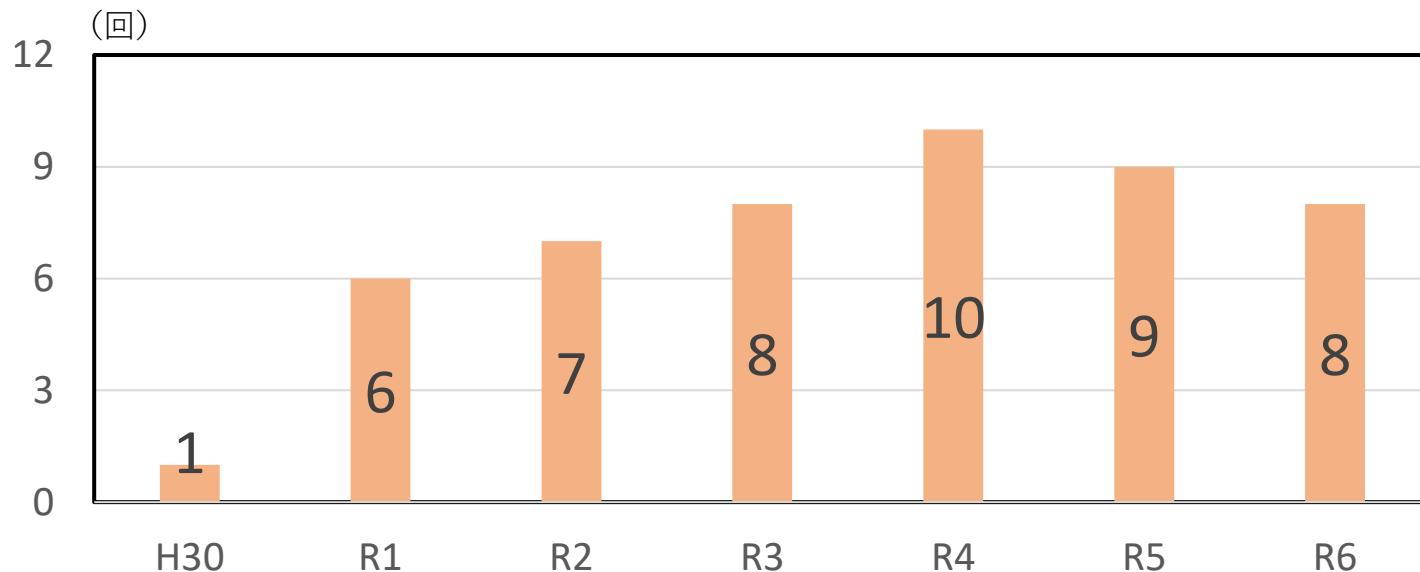
0枚：5病院、1枚：2病院、2枚：2病院、6枚：1病院
(日本輸血・細胞治療学会版)

0枚：1病院

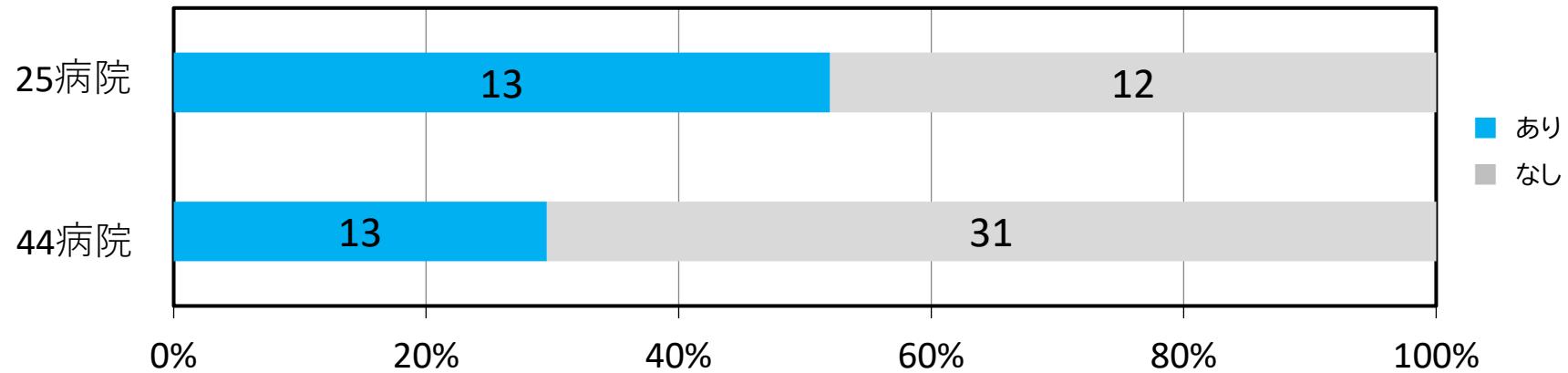
◆院内監査実施状況



※25病院の院内監査実施状況推移



◆輸血関連インシデント・ヒヤリハット発生状況



※発生したと回答した病院の発生件数内訳

